

### 小中学生や大学生企画開発

# アイデア商品アピール

左京でフェア

小中学生や大学生が企画開発した商品を紹介する「ユースエントプライズ トレードフェア」が2日、京都市左京区の京都大で開かれ、若き「起業家」たちが、地域の魅力を生かした物産や地域活性化のためのイベントなど、アイデア商品をアピールした。

NPO法人「アアント

レプレナーシップ開発センター」(中京区)や京都府、経済団体などで行った実行委員会が、起業教育の実践を紹介する見本市として、毎年催している。今年も府内や愛知県、群馬県などから20団体が出展した。

葉を生かしたクリアファイルなどを販売する学校、商店街で行ったファッションショーを紹介する大学が見られた。静原小(左京区)の児童が立ち上げた架空の会社で「社長」を務めた6年中村朔土君(12)は「お客さんに地域の良さを紹介できよかつた」と話した。

(山田修裕)



自分たちで企画開発した商品をアピールする子どもたち  
(京都市左京区・京都大)